

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年3月12日

【評価実施概要】

事業所番号	0172901779		
法人名	有限会社 パートナーステーション		
事業所名	グループホーム 和が家		
所在地	北海道旭川市春光台5条3丁目7-24 (電話) 0166-52-0755		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成22年3月11日	評価確定日	平成22年3月26日

【情報提供票より】(平成22年2月28日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年7月20日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	25 人	常勤	19人, 非常勤 6人, 常勤換算 14.9人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000 円	その他の経費(月額)	20,000~28,000 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	400 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(2月28日現在)

利用者人数	18 名	男性	0 名	女性	18 名
要介護1	4 名	要介護2	3 名		
要介護3	8 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2			
年齢	平均 80.1 歳	最低	72 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	むらい内科クリニック・春光台クリニック・こかど歯科
---------	---------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

法人及び施設長は、同業者の研修会開催やネットワーク作り等の要であり、地域のサービスの質の向上に貢献していると共に地元の商工会や地区センター、町内会等の役員も引き受け地域との連携に率先して取り組んでいます。また、包括支援センターや近隣福祉施設との連携で地域の高齢者や障がい者の支援に努める等、地域福祉のニーズを把握した取り組みの実践が行われています。敷地内では、花壇や畑が作られたり、ウサギや犬等の小動物を飼われ、地域住民や子ども達との交流が自然な形でもたれるよう工夫されています。また、ホーム内は吹き抜けで天窓があり、自然な陽光が射し込み、窓からは新緑や紅葉の山並み等季節感が感じられます。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、一人ひとりの健康状態等について家族への情報提供が課題として挙げられていましたが、定期的な「和が家の新聞」の発行で、地域とのかかわりや行事参加の様子が伝えられていると共に一人ひとりの健康状態や生活の様子など家族等に報告されています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者、職員は、評価を実施する意義を理解し、自己評価は全ての職員が参加して行われ、新たな気付きや改善の機会として利用されています。また、職員会議や家族会、運営推進会議等を通じて、自己評価及び外部評価の結果が報告され、意見交換が行われ、運営に反映されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、年6回を目安に開催されています。主な議題は、生活支援の取り組みについて 医療的支援(看護師からの)の報告 地域のニーズと小規模多機能型居宅介護事業所開設について スプリンクラー施設整備事業への取り組みについて 事業所の今後の運営方針についての説明等
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族や来訪者等が意見や苦情等を言い表せるように「意見箱」を設置して、管理者や職員に表せる機会を設けています。また、家族会の開催や運営推進会議で、要望や不安な点への話し合いが行われ、運営会議、全体会議を通じて具体的に検討され職員間で共有されると共にそこでの検討内容が実践されるように取り組んでいます。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会や地区社会福祉協議会、市民委員会、民生委員会や包括支援センターとの連携が行われ、地域の福祉ニーズが的確に把握されています。また、地域研修会や町内会のお祭り、老人会や保育園との交流等を通じた地域活動や地域の高齢者、障がい者の暮らしに役立つ支援の検討等地域と一体となって取り組んでいます。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、「和が家」独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	全体会議やユニット会議を通じて、管理者・職員は理念を共有しており、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会や地区社会福祉協議会、市民委員会、民生委員会や包括支援センターとの連携が行われ、地域の福祉ニーズが的確に把握されている。また、地域研修会や町内会のお祭り、老人会や保育園との交流等を通じた地域活動や地域の高齢者、障がい者の暮らしに役立つ支援に取り組んでいる。		特筆すべき点として、地元の商工会や地区センター、町内会等の役員も引き受け地域との連携に率先して取り組んでいる。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は、評価を実施する意義を理解し、自己評価は全ての職員が参加して行われ、新たな気付きや改善の機会として利用されている。また、職員会議や家族会、運営推進会議等を通じて、自己評価及び外部評価の結果が報告され、意見交換され運営に反映されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、定期的開催され議事録も残されている。委員は、民生委員、市民委員会役員、地区社会福祉協議会役員、町内会役員、障がい者施設役職者、家族会役員、事業所役員等で構成され、SOSネットワーク構築等具体的内容について話し合われている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>施設長は、グループホーム連絡協議会役員を兼ねており、地域の福祉問題や研修会企画等について旭川市や包括支援センターと協議や連携を採りながら、地域全体のサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>定期的な「和が家の新聞」の発行で、地域とのかかわりや行事参加の様子が伝えられていると共に一人ひとりの健康状態や生活の様子など家族等に報告されている。また、金銭管理は定期的に家族に報告されている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族や来訪者等が意見や苦情等を言い表せるように「意見箱」を設置して、管理者や職員に表せる機会を設けている。また、家族会の開催等で、要望や不安な点への話し合いが行われ、運営会議、全体会議を通じて運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員を段階に応じて育成するための年間計画をたて、認知症ケア研修や介護予防、ターミナルケア等OJT、内部研修を充実させ実践している。また、グループホーム連絡協議会や旭川市等の研修にも積極的に参加している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人及び施設長は、同業者の研修会開催やネットワーク作り等の要であり、地域のサービスの質の向上に貢献していると共に地域の商工会や地区センター、町内会等の役員も引き受け地域との連携に率先して取り組み、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、何度か見学してもらったり、日中ホームで過ごしてもらいながら職員や入居者そして、場の雰囲気に徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、畑作りや小動物の世話、カラオケやランプ等一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式を活用して、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め、美容室やお墓参り、散歩や買い物、畑作業や小動物の世話等本人本位に検討している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、通院やお墓参り、買い物や白鳥見物等のドライブなど事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と常勤看護職員との連携により、適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	身体拘束廃止委員会の設置や接遇マナー講習会への参加等を通じて、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、食事や入浴、畑作業やカラオケ、食事の準備や後片付け等本人の希望にそって支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>スプリンクラーの設置が完了している。また、定期的な消防訓練や避難訓練が実施されている。また、地域の消防団との連携が行われている。</p>		<p>スプリンクラー設置で、稼働時に利用者の衣服が水に濡れる可能性が強いので、着替えの準備や場所の確保等検討されることを期待します。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握され、医師の指導・助言を受けている。また、水分・食事の摂取量が把握されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間では、利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。また、ひな壇やクリスマス等の季節の飾りがされていたり。花や利用者の作品が飾られ生活感を採り入れている。ホーム内は吹き抜けで天窓があり、自然な陽光が射し込み、窓からは新緑や紅葉の山並み等季節感が感じられる。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は、本人や家族と相談しながら、家族の写真や人形、仏壇や花、使い慣れた家具等が持ち込まれ、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。